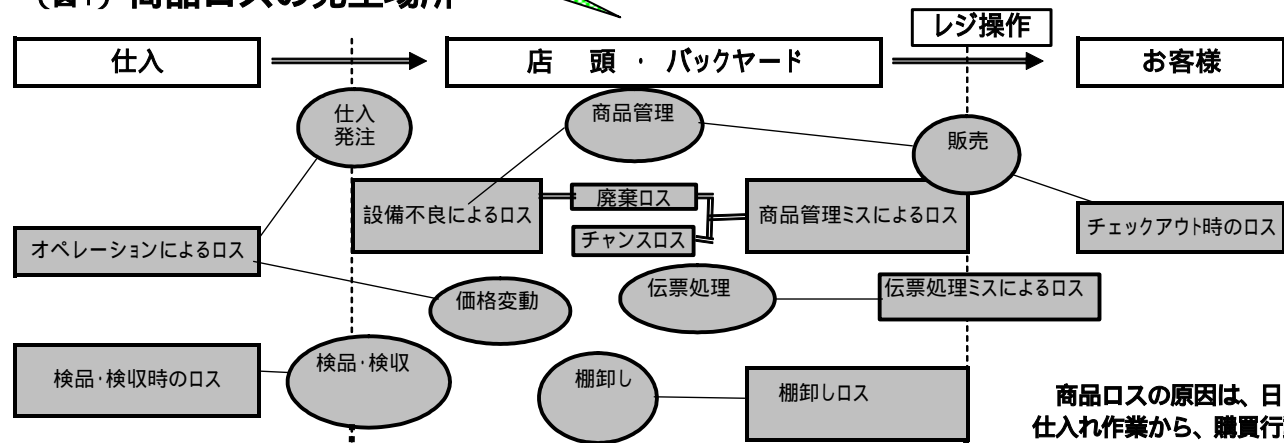


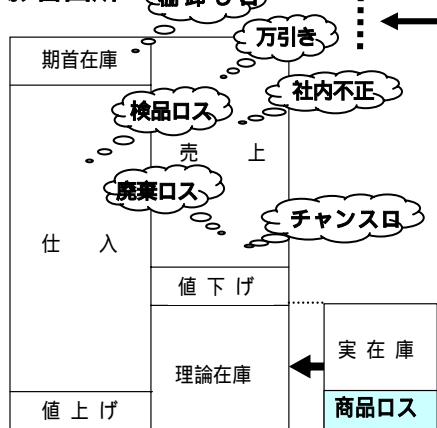
各オペレーションの見なおしと改善で

# 売上を伸ばさずに利益を創出する方法がある!!

(図1) 商品ロスの発生場所



(図2) 損益計算書上の影響箇所

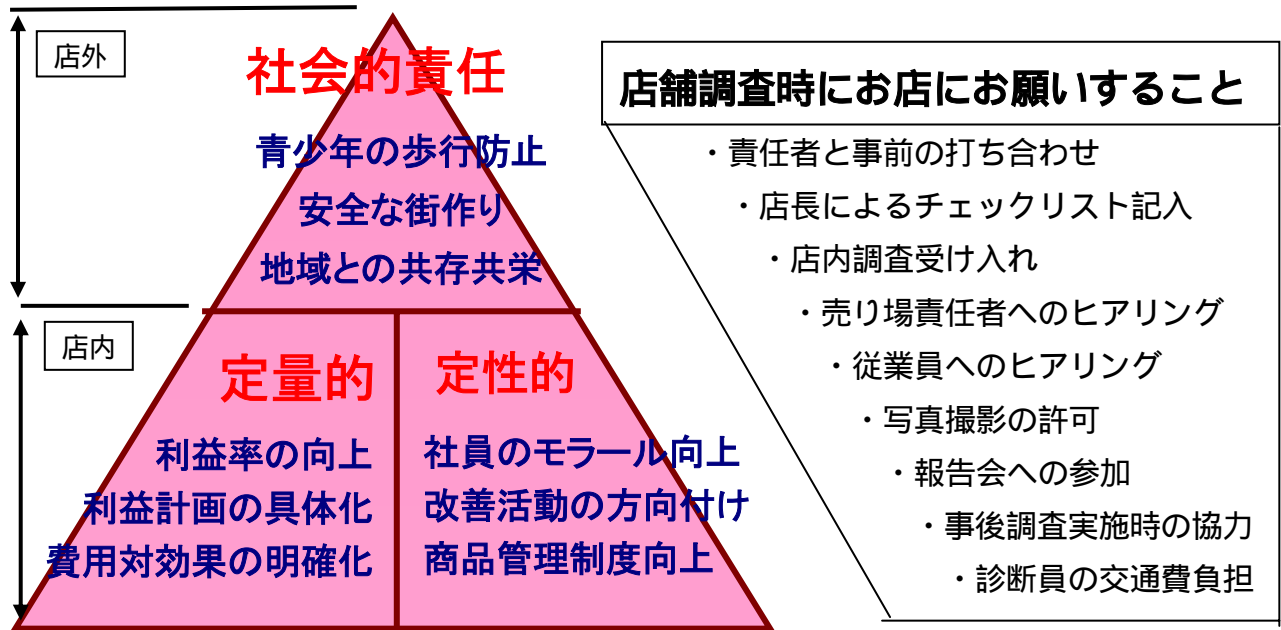


従業員の不注意によるロス  
従業員の不正によるロス  
お客様の不正によるロス

商品ロスの原因は、日々の仕入れ作業から、購買行動の終了時までわたって存在しています。(図1) また商品ロスは損益計算書の各項目の中に内在しており、最終的に理論在庫と実在庫の差として現れます。(図2) この商品ロスを経理処理上では、減損・減耗として控除していますが、そのロスは業種により違いはあるものの、1.5~2.0%とも言われており、御社の経常利益率と比べてときにその大きさに驚かれることと思います。この商品ロスの主な原因として、万引き・社内不正・オペレーションミスがありますが、それぞれの比率は経験上 1/3 ずつと言われています。

日本の多くの企業では、この商品ロスに対する取り組みを行なって来ませんでしたが、小売業の売上高が頭打ち傾向を示す中で、先進企業の中からはこの商品ロス削減に目を向けてきた企業も出てきています。

## 業務のPDCAを見直す(監査)だけで、こんなメリットが



### 店舗調査時にお店にお願いすること

- ・責任者と事前の打ち合わせ
- ・店長によるチェックリスト記入
- ・店内調査受け入れ
- ・売り場責任者へのヒアリング
- ・従業員へのヒアリング
- ・写真撮影の許可
- ・報告会への参加
- ・事後調査実施時の協力
- ・診断員の交通費負担

それが

# ロスプリベンプレvention

です

## 経常利益率1%UPを、ロス(万引き・社内不正・オペレーションミス)率の削減で実現させよう

売上高10,000万円で、経常利益が200万円のお店があります。このお店の経常利益を300万円にする方法を考えてみましょう。(表3参照) **売上高のUPや販管費の削減での達成はかなり大変です。ロス削減により容易にできます!!**

売上高のUPだけで目標を達成するには、売上高を15,000万円と実に50%もUPさせなくてはなりません。販管費を100万円削減する方法です。しかしこれを具体化するには、人件費や広告宣伝費等の経費を減らすことになり、従業員のモラルに影響を及ぼします。各種のロスを削減する方法です。今まで手を付けていなかった各種のロスを100万円削減(50%減)することで、売上UPも販管費削減も行なわずに経常利益を300万円に増加させます。

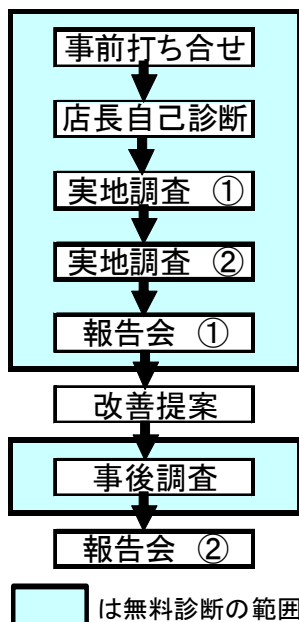
(表3) 収益増加シミュレーション

	割合	与件	売上高UP	販管費を削減	ロスの削減
売上高	(100%)	10,000	15,000 (+5000)	10,000	10,000
売上原価	(70)	7,000	10,500	7,000	7,000
売上総利益	(30)	3,000	4,500	3,000	3,000
販管費その他	(28)	2,800	4,200	2,700 (-100)	2,800
(ロス額)		200 (2%)	300 (2%)	200 (2%)	100 (1%)
経常利益	(2)	200 (2%)	300 (2%)	300 (3%)	300 (3%)

御社のやるべきことは

- ・万引き対策
  - ・社内不正対策
  - ・オペレーションミス対策
- の3つです。

## 診断の流れ



(表4) 診断項目・チャートの例

大項目	中項目	小項目	チェック項目	チェック結果	重要度 (3段階評価)	リスクの強度 (4段階評価)
万引・防犯機器	防犯機器の設置状況	防犯ミラー	設置場所と数、種類は適正か(死角を補う場所にあるか)。	はい	3	4
		防犯カメラ・モニター	設置場所と数、種類は適正か(死角を補う場所か、ダミーカメラの有無、"撮影中表示"の有無)。	いいえ	3	4
レジ位置	店内見通し	レジ位置	出口の近くにお客様は必ず通るようになっているか。	はい	3	4
		レジ位置	必ず店員がおり、店内が見渡せるか。	いいえ	3	4
陳列方法	店内見通し	陳列方法	ザッカー台はオープンな環境にあるか(不自然な動作をしている客をチェックできるか)。	はい	2	4
		陳列方法	店頭は死角になっていないか。(店内から見えるか、店員は店頭の客に気づくか)。	いいえ	2	4
死角	トイレ	死角	不要なダンボールやゴミがないか。	はい	3	4
		死角	必要な照明が設置されているか。	いいえ	3	4
動線	(客)	動線	狭くて客が不自然な姿勢をとっていないか。	はい	2	4
		動線	商品の上に荷物を置けるような陳列がないか。	いいえ	2	4
防犯機器の活用	(従業員)	防犯機器の活用	陳列棚が高過ぎないか。	はい	3	4
		防犯機器の活用	適切な通路幅ですか?	いいえ	3	4
防犯活動その他	外部との連携	防犯活動その他	陳列棚のレイアウトは正しいか。	はい	3	4
		防犯活動その他	ポスター等が防犯機器の用途を損なっていないか。	いいえ	3	4

中小企業診断士協会東京支部「ロスプリベンプレvention研究会」では、当支部の成果発表会で支部長賞を受賞したことを記念し、各種ロスでお悩みの企業の皆様にも少しでもお役に立てようとして、簡易無料診断を実施することにいたしました。この機会に自社の問題点を洗い出してみませんか。上記「診断の流れ」に沿って作業を行い、結果を分かり易いレーダーチャート等にして報告後、再度事後調査に伺います。

A社 ロスプリベンプレvention診断結果 総合判定

